学校番号	3009

令和８年度　工業科(総合募集の専科)

教科	工業科 (総合募集の専科)	科目	(学)基礎製図	単位数	1単位	年次	1年次 (前期)
使用教科書	なし						
副教材等	『基礎製図検定問題集』（全国工業高等学校長協会）・プリント等						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

いろいろな図面から作られる製品や工作物に興味を持って、実際の製図を描くことで、作図に取り組む基本的な姿勢と技術を身に付ける。

2　学習の到達目標

a：基本的な用語及び道具の使い方を身に付け、作図についての技能を身に付ける。
b：2次元と3次元のつながりを理解し、その表記法や描画技術を身に付ける。
c：製図表現の意味を理解し、作図に取り組むうえでの意識と態度を身に付ける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	平面図と立体図との相互関係を理解し、正確に製品や部品の製作のための情報を伝えることができる図面を描く技術を身に付けている。	図面から製品や工作物をイメージすることができる。3次元的に立体を把握し、立体物の製作をすることができる。	課題の仕上がりや、提出期限に向けて調整しながら取り組む態度を養おうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	製図の基礎	・文字と記号 ・線の練習 ・投影図 ・等角図	a:製図のルールを定着させ、立体掌握力を持っている。 b:図面から立体物をイメージし、製作することができている。 c:作図へ集中している。	作品 成果物	考査	提出物 作図態度
	断面投影展開図	・不足線の追記 ・片側断面図 ・補助投影図 ・展開図	a:図面の正確さ・丁寧さがある。 b:図面から立体物をイメージし、製作することができている。 c:作図へ集中している。	作品 成果物	考査	提出物 作図態度

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度